

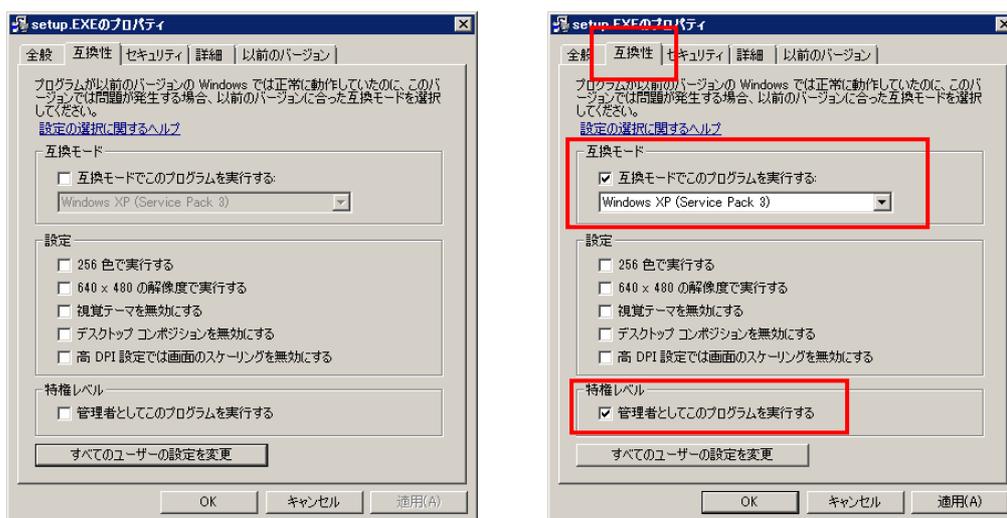
cvNm30xToHipot v2.0 変換ツール操作説明書

NM30X(wd4 ファイル)を WireExpressHipot(w64 ファイル)変換

cvNm30xToHipot v2.0（以下変換ツール）はナックマンリモートで使用している検査データ（wd4 形式のファイル）を WireExpressHipot で使用する検査データ（w64 形式のファイル）に変換するツールです。

変換ツールのインストール

入手した CD-ROM または USB メモリにある **setup.EXE** をデスクトップにコピーします。デスクトップにコピーした **setup.EXE** をマウスで右クリックしてください。プロパティ画面が表示されるので、互換性タブを選択します。



互換モードでこのプログラムを実行するにチェックを付けて「Windows XP (Service Pack 3)」を選択します。

次に管理者としてこのプログラムを実行するにチェックを付けます。

（上図右の画面参照）

次に「すべてのユーザーの設定を変更」ボタンを押してすべてのユーザーの互換性も同様にチェックを付けて Windows XP (Service Pack 3) を選択して、OK ボタンを押していき、**setup.EXE** のプロパティ画面を閉じます。

準備ができましたら、デスクトップにコピーした **setup.EXE** をマウスでダブルクリックするとツールのインストール画面が表示されますので画面の指示に従って「次へ」ボタンを押していきます。

途中で**警告画面が表示された場合、「無視」ボタン**を押してください。

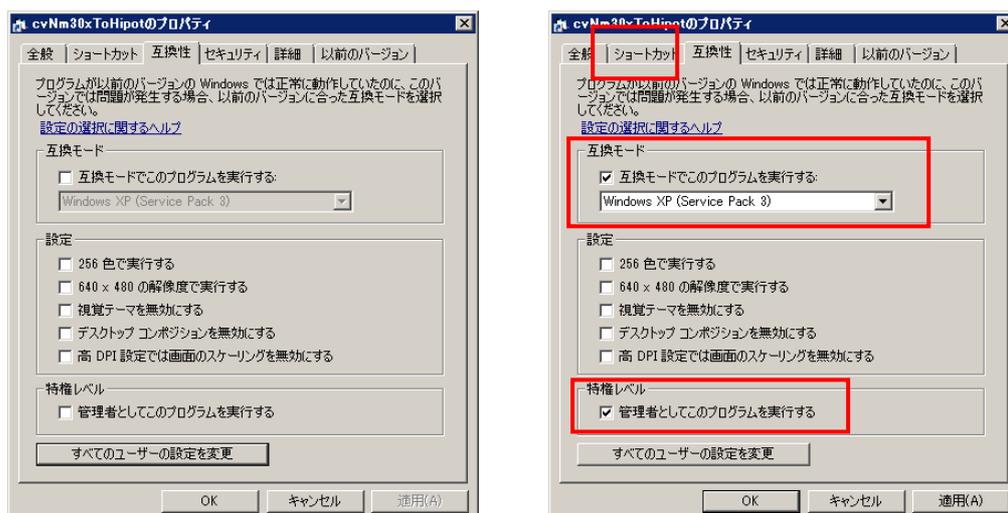
インストールが完了するとデスクトップに変換ツールのアイコンができます。



デスクトップの **setup.EXE** はゴミ箱に捨ててください。

デスクトップにできた cvNm30XToHipot (変換ツール) のアイコンをマウスで右クリックしてください。

プロパティ画面が表示されるので、**互換性タブ**を選択します。



互換モードでこのプログラムを実行するにチェックを付けて「Windows XP (Service Pack 3)」を選択します。

次に管理者としてこのプログラムを実行するにチェックを付けます。

(上図右の画面参照)

次に「すべてのユーザーの設定を変更」ボタンを押してすべてのユーザーの互換性も同様にチェックを付けて Windows XP (Service Pack 3) を選択して、OK ボタンを押していき、cvNm30XToHipot.EXE のプロパティ画面を閉じます。

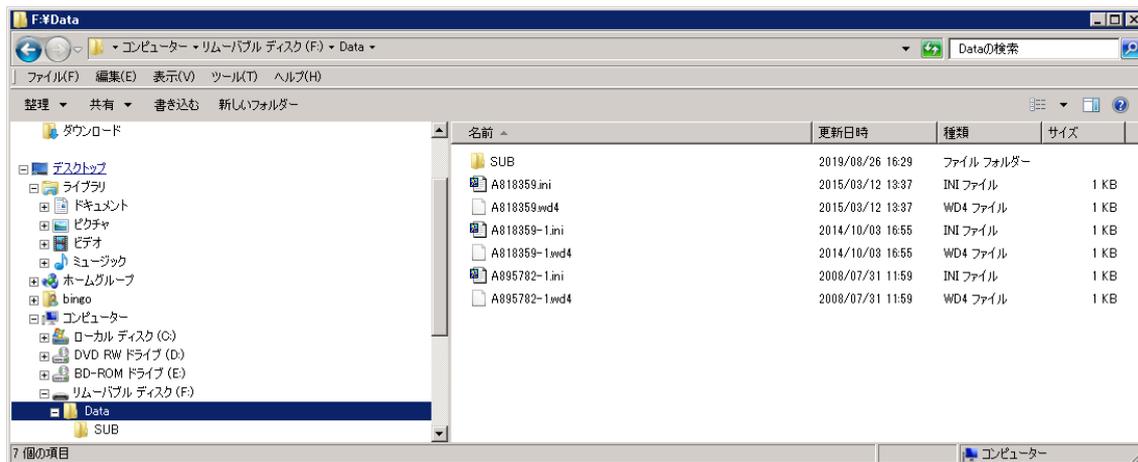
これで変換ツールのインストールが完了しました。

変換前に準備するもの

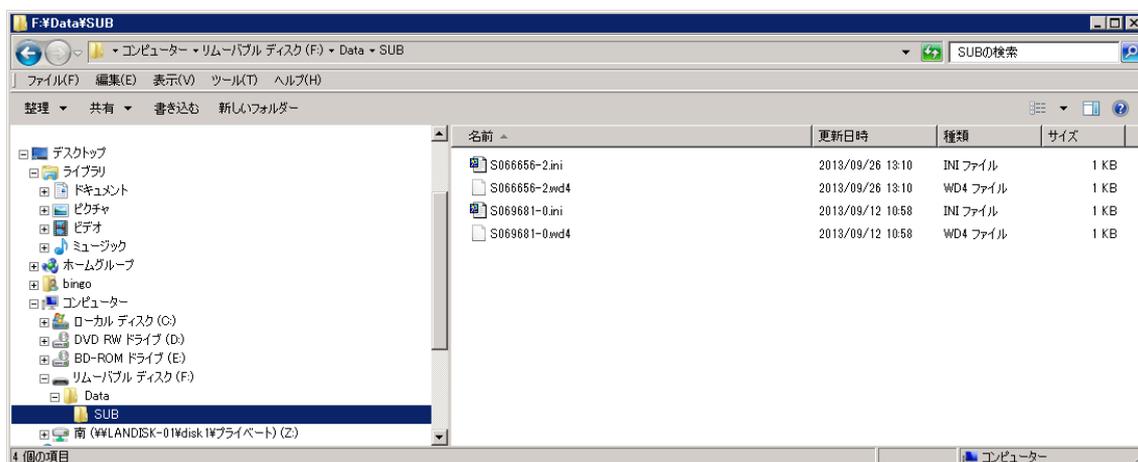
変換するナックマンリモートのデータ用意する

ナックマンリモートの Data フォルダにある NM30X 用の検査データを USB メモリなどにフォルダごとコピーしておいてください。

サンプルとして USB メモリにナックマンリモートの Data フォルダをコピーした例です。



USB メモリ（上図ではリムーバブルディスク (F:)）の Data フォルダには 3 つの wd4 形式のファイルがあります。

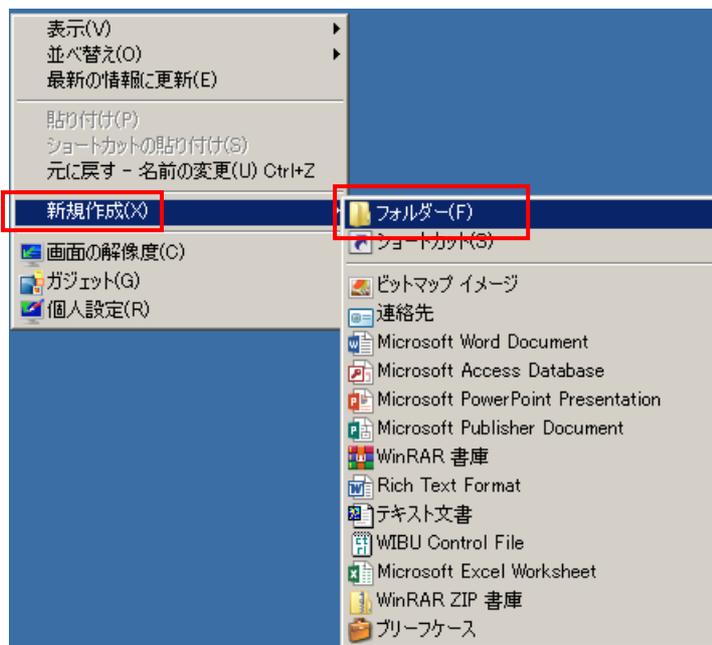


また、Data フォルダの中に SUB フォルダがあり、ここには 2 つの wd4 形式のファイルがあります。

変換ツールはこの USB メモリに保存した Data フォルダをフォルダごと WireExpressHipot 用の検査データに変換します。

変換した WireExpressHipot 用の検査データ格納先を用意する

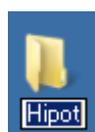
サンプルではデスクトップに Hipot フォルダを作成して、この Hipot フォルダにナックマンリモートの検査データを WireExpressHipot 用の検査データに変換して格納します。デスクトップをマウスで右クリックして新規作成のフォルダーを指定します。



新しいフォルダアイコンが表示されますので、名前を新しいフォルダから Hipot に変更します。



新しいフォルダ



Hipot フォルダに名前を変更

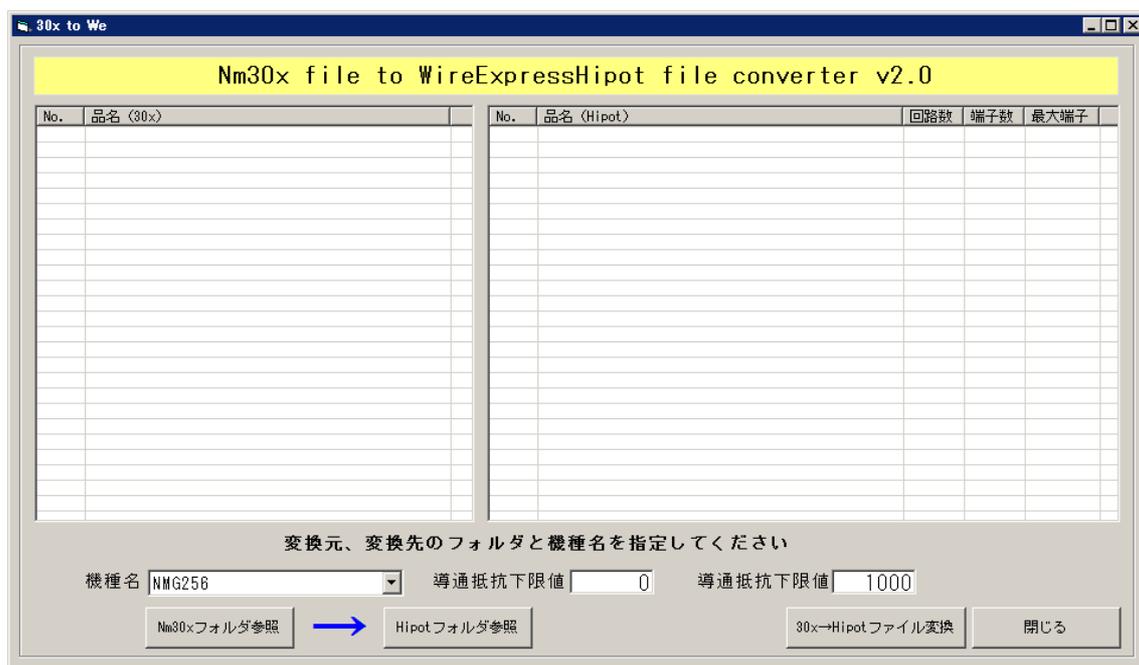
WireExpressHipot 用の検査データに変換した格納先をデスクトップの Hipot フォルダとしました。

変換ツールの操作

準備ができましたら、デスクトップにある変換ツールのアイコンをダブルクリックします。

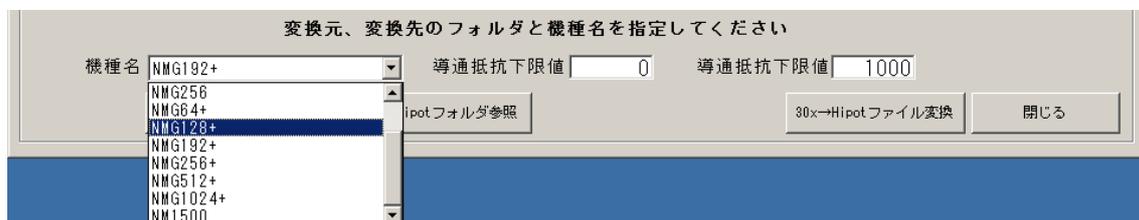


変換ツールの画面が表示されます。



機種名を決めます。

機種名の右にある▽をクリックして検査器の機種名を選択します。



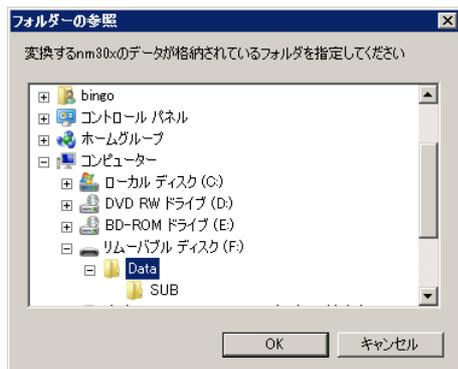
該当する選択肢が無くても変換できます。適当な機種を指定するか弊社営業にお問い合わせください。

この例ではNMG128+を指定します。

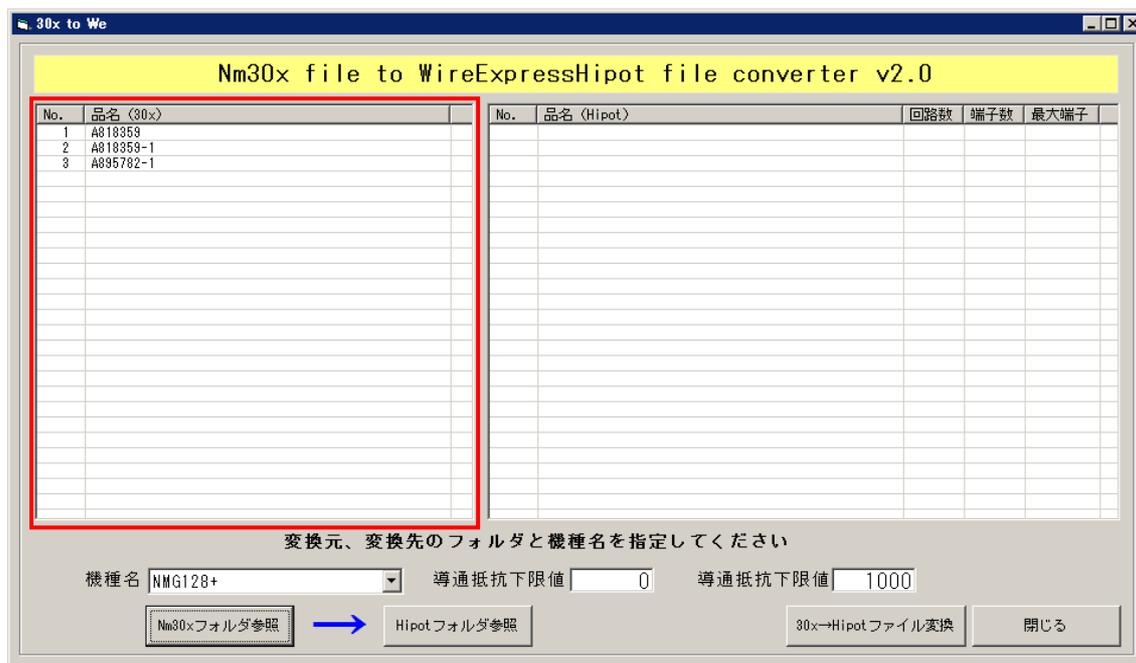
変換するナックマンリモートのデータを指定します。

Nm30X フォルダ参照ボタンを押します。

変換するナックマンリモートのデータはUSBメモリ（リムーバブルディスク (F:)）に用意したので、USBメモリに保存したDataフォルダを指定します。



OK ボタンを押して確定します。

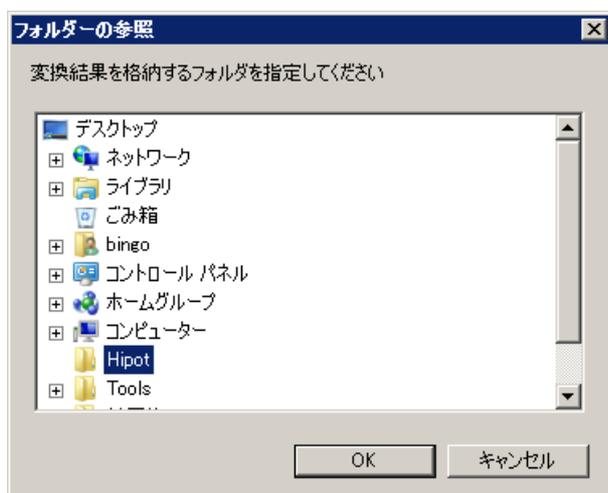


一覧の左側の変換元に3つのナックマンリモートの検査データが確認できます。

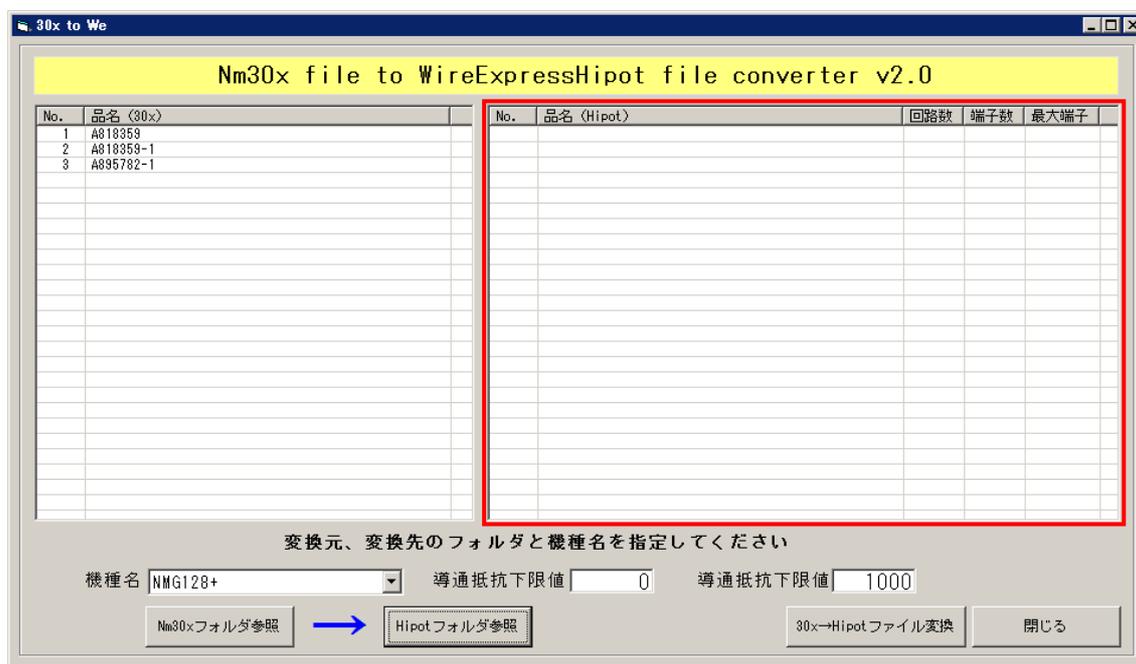
変換した WireExpressHipot 用のデータの格納先を指定します。

Hipot フォルダ参照ボタンを押します。

WireExpressHipot 用に変換したデータの格納先はデスクトップに作成した Hipot フォルダにしましたので、このフォルダを指定します。



OK ボタンを押して確定します。



一覧の右側の変換先には変換した WireExpressHipot 用のデータが無いことが確認できます。

導通抵抗上下限値をキー入力します。

WireExpressHipot の検査用データには導通抵抗下限値と導通抵抗上限値が必要です。

No.	品名 (30x)	No.	品名 (Hipot)	回路数	端子数	最大端子
1	A818359					
2	A818359-1					
3	A895782-1					

変換元、変換先のフォルダと機種名を指定してください

機種名 導通抵抗下限値 導通抵抗上限値

→

例として NMG128+用の検査データの導通抵抗下限値を0、導通抵抗上限値を20000Ωとする。

ナックマンリモート用の検査データを WireExpressHipot 用に変換する。

準備が出来ましたら、30X→Hipot ファイル変換ボタンを押します。

No.	品名 (30x)	No.	品名 (Hipot)	回路数	端子数	最大端子
1	A818359					
2	A818359-1					
3	A895782-1					

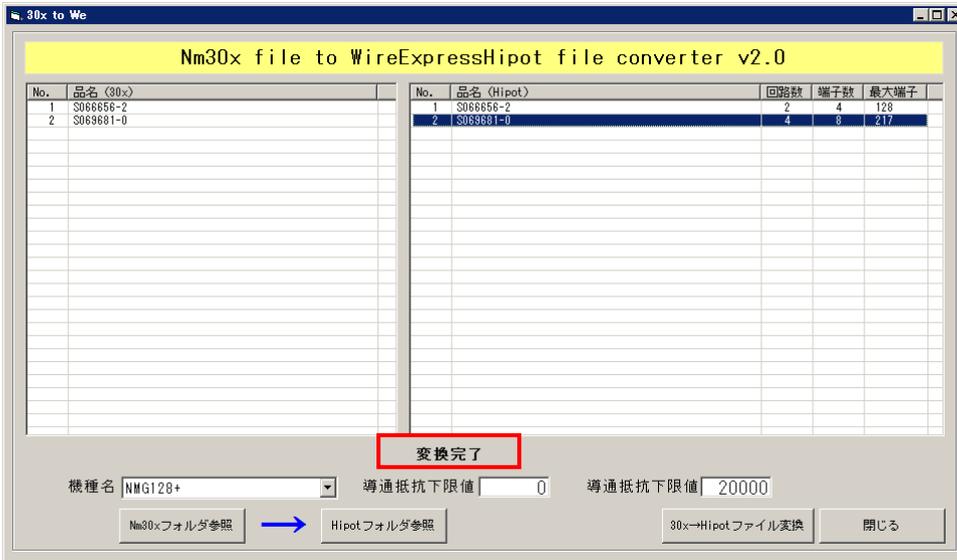
フォルダ構成を解析中です...

機種名 導通抵抗下限値 導通抵抗上限値

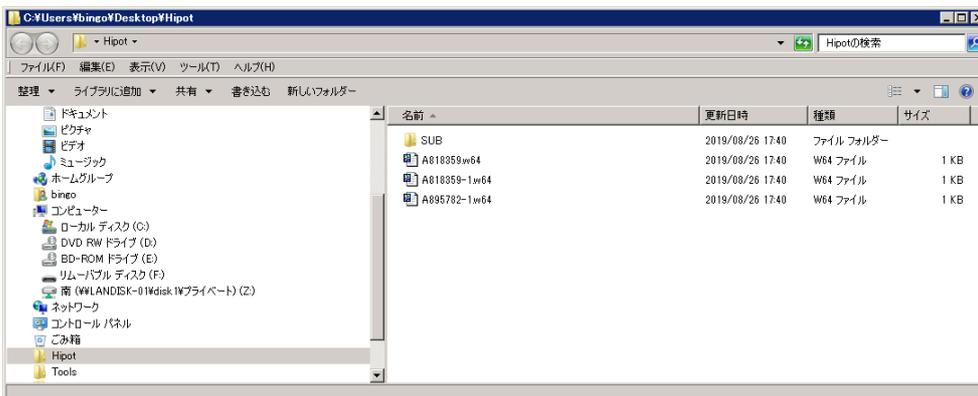
→

解析中となります。

しばらくすると、変換が完了します。

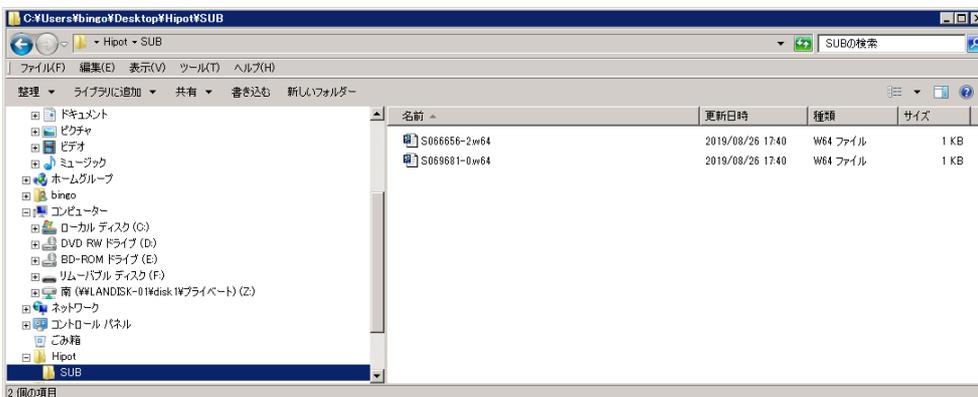


デスクトップのHipot フォルダを確認します。



3つの検査データが変換されました。

中にあるSUB フォルダを確認します。



2つの検査データが変換されました。

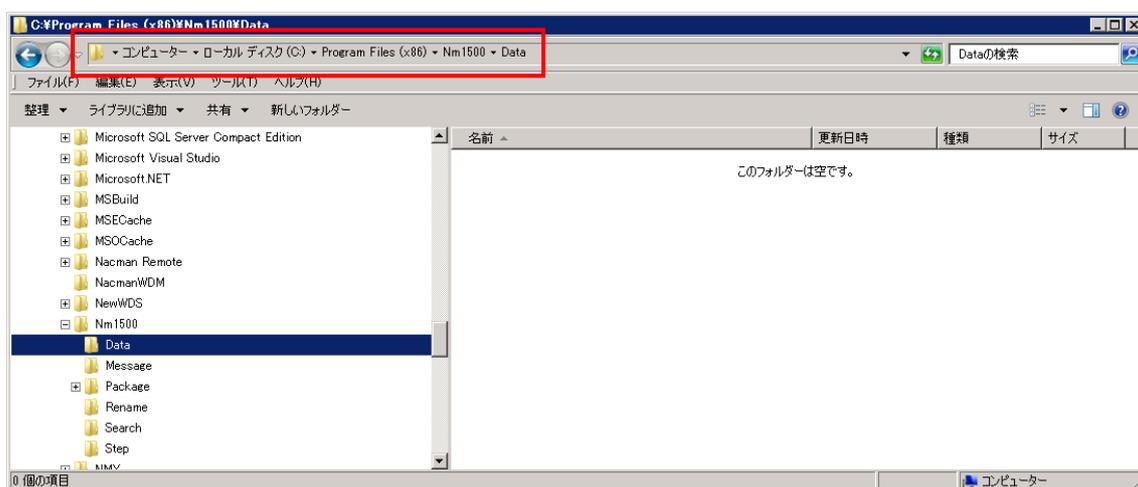
WireExpressHipot 用に変換した検査データを WireExpressHipot で使用する。

WireExpressHipot で変換した検査データを使用するためには、WireExpressHipot がインストールされた Data フォルダにこの Hipot フォルダの中身をフォルダごとコピーします。通常 WireExpressHipot は以下のフォルダにインストールされます。

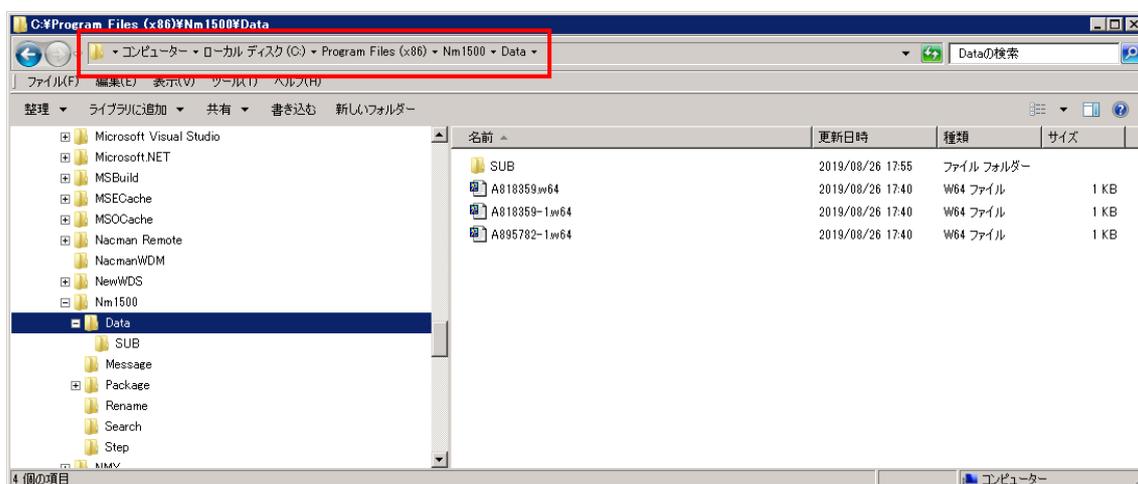
32bit の PC では、C:\Program Files\Nm1500

64bit の PC では、C:\Program Files (x86)\Nm1500

この Nm1500 フォルダにある Data フォルダに上書きでコピーします、例として 64bit の PC に WireExpressHipot をインストールして、この Data フォルダにデスクトップの Hipot フォルダの中身をコピーしてみます。



コピー前は Data フォルダには検査データがありません。



3 つの検査データと SUB フォルダを WireExpressHipot の Data フォルダにコピーしました。

WireExpressHipot を起動して Data フォルダを確認します。



製作日	品名	回路数	ポ...	コメント	配線	抵抗	耐圧	絶縁	瞬L
19-08-26	A818359	2	4		○		○	○	
19-08-26	A818359-1	2	4		○		○	○	
19-08-26	A895782-1	6	12		○		○	○	

3つの検査データが確認できました。

フォルダ変更ボタンを押して SUB フォルダを確認します。



製作日	品名	回路数	ポ...	コメント	配線	抵抗	耐圧	絶縁	瞬L
19-08-26	S066658-2	2	4		○		○	○	
19-08-26	S069681-0	4	8		○		○	○	

2つの検査データが確認できました。

ナックマンリモートの検査データを WireExpressHipot の検査データに変換し、使用可能にしました。

【注意】

配線の変換はできますが、検査仕様はナックマンリモートと WireExpressHipot では設定内容が異なるため変換できません。

検査を行うと時の検査スペックはデフォルトになります。